

ルクセンブルク大公国 政治・社会情勢（2016年10月）

<ポイント>

【内政】

- 次回の国勢選挙は**2018年10月**に実施される。
- 2017年**に予定されている統一地方選挙に海賊党が初めて参加することを表明。

【外交・EU】

●馬 凱（ば がい） 國務院副総理が当国を訪問するとともに、ギョーム皇太子殿下がグラメーニャ財務相と共にミッション団を率いて中国の北京・上海・深センを訪問し、各地での金融セミナーに続き、孔子学院設立に係る復旦大学とルクセンブルク間の協定署名を行った。

【社会・大公宮】

●ルクセンブルクから、ポーランドに強制移送された**323人**を追悼記念する**75周年**の行事が中央駅構内で行われ、アンリ大公、ベッテル首相、ディ・バルトロメオ国民議会議長が参加した。

1 内政

- 5日 新たに承認された請願は、教会財産管理の一元化への反対の件（**715票**）、同性愛者の献血する権利（**717票**）、ルクセンブルクにおける無農薬権利（**707票**）、公共の場で顔を覆うことの禁止（**711票**）、ルクセンブルクの学校へ応急処置授業の導入（**708票**）ガソリンと軽油の税率調和（**712票**）。
- 6日 **2017年**に予定されている統一地方選挙に海賊党が初めて参加することを表明。ルクセンブルク語を第一公用化することに反対しており、仏語教育の充実を訴えている。
- 8日 クロード・ヴィスラー（**Claude Wiseler**）氏が正式に、**2018年**の国勢選挙においてキリスト教社会党（**CSV**）のトップ候補として指名された。
- 29日 次回の国勢選挙は**2018年10月**に実施される。これまでは**5年ごと**に**6月**の第一日曜日に実施されていたが、前回行われた**2013年10月**の選挙が前倒しになったことによる。

2 外交・EU

- 3日 ゴズィ（**Mr.Sandro Gozi**）伊外相の招待によりアセルボーン外相は、ローマで法治国家友好会合に参加した。会合の目的は、EU総務理事会において法治国家に関する政治対話を強化すること。
- ベッテル当国首相始め、ルッテ蘭首相、ミッシェル白首相がアンリ大共同妃殿下と共にシェンゲンにおいてベネルクス年次サミットに参加した。EUの現状を踏まえ、新たな経済、安全保障分野におけるEU間の協力について協議を行った。
- 10日 ベッテル首相はパリの弁護士協会会長の招待を受け、欧州における新たな世代と題して講演を行った。また、同協会から名誉勲章を授与された。
- 11－12日 アウンサンスーチー外相の招待で、アセルボーン外相はミャンマーに赴き、二国間対話及びミャンマーの民主化移行プロセスに関する協議を行った。
- 13－14日 アセルボーン外相は、タイのバンコクに赴きEUとASEANの第21回外相会議に参加した。また、これはEUとASEAN友好関係樹立40周年を先行する会議となった。

14日 ベッテル首相は、フランス・チヨンヴィルに所在するルクセンブルクハウスの10周年を記念する行事に参加した。同ハウスでは、当国での労働条件、厚生制度、税制、ルクセンブルク語の習得等に関する情報が得られる。

14-15日 当国を来訪したカーボ・ヴェルデのユリス・コレイア・エ・シルバ首相はベッテル首相と会談を行うとともに、シュナイダー協力・人道支援大臣と協力支援プログラムに関して協議を行った。

19日 馬 凱（ば がい） 国務院副総理が当国を訪問し、ベッテル首相及びグラメーニャ財務相と会談を行い、アンリ大公殿下に謁見した。

アセルボーン外相は、当国を訪れたキューバのアナ・マリア・マリ・マチャド国民議会副議長と会談し、政治・経済における当国とキューバの二国間関係について協議した。

20日 アセルボーン外相は、ムスタファ・イラククルディスタン地域外務庁長官と当国にて会談し、イラク避難民に対する援助を引き続き約束した。

20-21日 ベッテル首相は、ブリュッセルで行われた欧州理事会の会合に参加した。トウスク欧州理事会議長のもと、移民危機やEUカナダ包括的経済貿易協定（CETA）、シリアにおけるロシアの役割等に関して協議が行われた。

24日 シュナイダー協力・人道支援大臣は、コソボのプリシュティナに赴き、ハイレディン・クチ副大統領と共に2017-2020年間に3千万ユーロの支援協定の署名を行った。

ベッテル首相は、欧州委員会のミシェル・バルニエ英離脱交渉官と当地において会談した。

24-28日 ギヨーム皇太子殿下はグラメーニャ財務相と共にミッション団を率いて中国の北京・上海・深センを訪問した。各地での金融セミナーに続き、孔子学院設立に係る復旦大学とルクセンブルク間の協定署名を行った。

25-26日 アセルボーン外相は、ドミニカ共和国に赴き、EUとラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）の外相会合に参加し、気候変動や開発支援に関して協議を行った。

3 社会・大公宮

14日 第一次世界大戦の戦場となったフランスのヴェルダンの戦い100周年に因んで、戦死者を弔うためにアンリ大公同妃殿下及びギヨーム皇太子同妃両殿下が現地に赴かれた。

16日 ルクセンブルクから、ポーランドのリッツマンスタットに強制移送された323人を追悼記念する75周年の行事が中央駅構内で行われ、アンリ大公、ベッテル首相、ディ・バルトロメオ国民議会議長が参加した。

21日 ムッチュ機会均等大臣が大公妃殿下と共に、ルクセンブルクの女性カトリック活動団体（ACFL）の70周年記念式典に参加した。